

一般医療機器

機械器具 12 理学診療用器具
 止血用押圧器具 70617000

リベルト

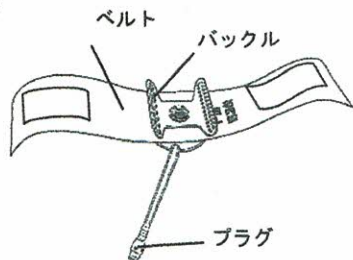
再使用禁止

【禁忌・禁止】
 再使用禁止

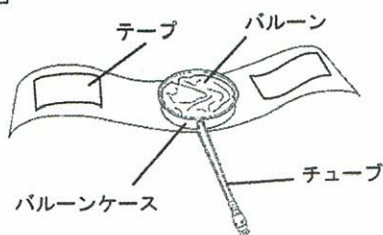
【形状・構造及び原理等】

〈構成〉

表面



裏面



- ・ 附属品として両面テープが付く。
- ・ 出荷時は右大腿部用の方向でバルーンケースとバックルをセットしている。
- ・ 本品のベルトはポリエステルを使用している。

〈品種〉

品名	品番	全長 [mm]
左右兼用内股用ロング (左右 L)	RB-1005	1,950±15
左右兼用内股用ショート (左右 S)	RB-1006	1,750±15

【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

血管造影検査や I V R および P C I 後に大腿動脈穿刺部位からカテーテルを抜去し、一次止血を行った後、数時間から 24 時間穿刺部位を圧迫して二次止血を行う必要があり、この際に安全で適度な持続圧迫により止血する目的で使用する。

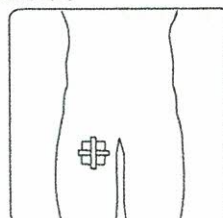
〈効果〉

従来の多くの施設で用いられている絆創膏法、絆創膏と砂嚢による圧迫法、ベルト圧迫法と比べると、患者の状態 (血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ等) によって自由に圧迫力の調整ができるので、圧迫不良による再出血や皮下血腫、動脈血栓等の合併症が発生する頻度が低くなる。

*【使用方法等】

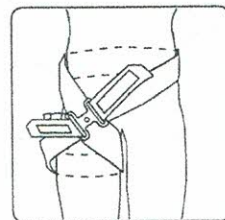
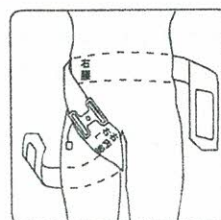
1. 右大腿部の止血方法

- (1) 本品を包装より取り出します。
- (2) 一次止血を行った後、穿刺部にガーゼを当ててテープで軽く止めます。

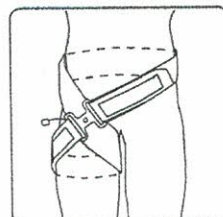


- (3) ガーゼの上にバルーンの中央部を当て、以下にしたがってベルトがシワにならないように巻き付けて固定します。

- 1) 「右内股」の表示が見える 2) ベルトをバックルに通しように巻き付けます。



- 3) テープの紙をはがし、ベルトにはりつけて固定します。



※患者のサイズに応じて両面テープを使用し、長さの調節を行います。

- (4) 加圧器 (別売品、品番: RK-1007) のソケットと止血ベルトのプラグを接続して、必要な圧力 (原則として収縮期血圧と同じ圧力であるが、患者の状態 (血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ) に応じて圧力を調節する) までバルーンを加圧した後、加圧器のソケットを取り外します。

(加圧器側)

(止血ベルト側)

ソケット



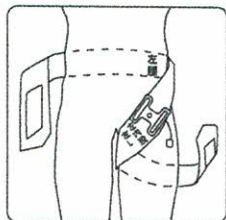
- (5) 加圧開始から数時間後に患者の状態に応じてバルーンを減圧し、圧迫完了後、足背動脈、患者の訴えを確認してから止血ベルトを取り外します。

2. 左大腿部の止血方法

- (1) 本品を包装より取り出します。
- (2) バックルとバルーンケースを付け替えます。



- (3) 「左内股」の表示が見えるように巻き付けます。



- (4) 以下、1. (3) 2)～1. (5) の操作を同様に行います。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 使用時にベルトのずれや緩みが生じる場合は、事前に適当なテープ等でベルトを固定すること。[緩みにより圧迫力が下がるおそれがある。]
2. 使用中はバックル中央の確認窓から指を入れ、バルーンの加圧が保持されていることを確認すること。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. バルーンの品質確認のため、出荷時に少し加圧している。使用前の確認でバルーンが収縮している場合は使用しないこと。
2. 止血ベルトのチューブを過度に引っ張らないこと。[チューブの破損が生じるおそれがある。]
3. プラグの接続部には触れないこと。[逆止弁が破損し、バルーンが収縮するおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合
圧迫力低下、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3年〔自己認証（当社データ）による〕
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社広島樹脂コーティング
電話番号：082-434-6451

販売業者（問い合わせ先）

株式会社ジェイ・エム・エス
電話番号：03-6404-0603